

ど、観光協会と連携し、入園者の増加を図られた。

②市営住宅使用料の収入未済額について、使用料の滞納額が一〇〇万円を超えるケースが四件含まれている。滞納に至る経過・要因には様々なものがあり、滞納整理には厳しく難しい事情があると推察するが、受益者負担の原則の公平性・公正性を担保する意味からも、滞納整理には引き続き努力された。

③手当・医療等返還金については、過払いが生じない対策を講じられた。

歳出

◆総括

①適正な予算執行のために、補正は的確かつ正確に行うよう努められた。

◆総務費

①職員の健康管理等の観点から、時間外勤務を減らすよう努力された。

②広報まちだ発行事業においては、すべての市民にいき渡るよう配布場所、方法等工夫を図られた。

③市民相談費の施設見学事業については、実施回数は減少しているものの、潜在的なニーズを含め、希望者が多いこと、また事業目的に新しい視点盛り込まれたことに鑑み、事業内容の充実を図られた。

④市民意識調査について、現状に満足することなく、回収率向上に努力された。

⑤公共施設跡地利用検討事業等、公共財産有効活用については、未利用地の利活用も含め市民意識が高いことから検討内容のわかりやすい説明や公開をすすめられた。

⑥非核平和事業は、「非核平和都市宣言」を行っている自治体にふさわしい企画を立てるなど努められた。

⑦事務事業見直し推進事業については、対象事業内容を精査し、一律に判定結果を反映することのないよう努められた。

⑧女性職員登用拡大については、女性が働きやすい職場環境をつくると共に、一層の人材育成に努められた。

⑨職員の各種研修事業については、研修内容の一層の充実を図られた。

⑩施設案内予約システムについては、更なる利便性の向上とインターネットや音声での操作が不得意な市民の要望を反映し適切な対策を講じられた。

⑪男女平等施策にあっては、現状、実態に即した施策にするよう努力された。あわせて、男女平等推進センター施設は、より多くの団体に登録してもらうよう工夫された。

⑫中心市街地民間交番については、あり方の検討を引き続き行い、実態に即した事業内容になるよう検討されたい。

◆民生費

①やまゆり号運行サービスなど福祉輸送サービスは、障がい者がより一層利用しやすくなるよう図られた。

②戦没者追悼事業は、遺族の高齢化も考慮し、運営や会場などの工夫検討をされたい。

③成年後見制度については、市民の理解をより広げるために、周知方法の工夫、窓口への相談を気軽に行えるようにするなど一層の促進を図られたい。

④民生委員、協力員の増員を図られたい。

◆衛生費

①がんの早期発見、早期治療を目指すためにも、検診事業等の啓発活動に努められた。

②高齢者予防接種事業費の高齢者インフルエンザ予防接種事業については、情報収集や関係機関との連携・協力を密にするなど、対応・対策、準備に万全を期すよう努力された。

③乳児、一歳六カ月児、三歳児の各種健康診査を健康福祉会館で実施する場合、駐車場の増設に努力されたい。あわせて、健診場所の増設も検討されたい。

④ごみ収集業務委託事業については、委託費用の削減に努力された。

⑤リサイクル広場などごみ減量普及事業については、意識啓発の効果も期待されることから、多くの市民の目にふれる取り組みとするよう努められた。

⑥町田市廃棄物減量再資源化等推進整備基金の積立および取り崩しの方法について、条例の改正を含め抜本的な見直しを図られた。

⑦生ごみ処理機等購入費補助については、補助の要綱にそった結果の検証が適正に行われるよう充分な指導を図られたい。

◆労働費

①町田市勤労者福祉サービスセンターへの補助金については、センターの果たす役割を十分に認識し、補助金額の適正化に努められた。

◆農林費

①市民農園事業については、利用希望待機者がいる状況に鑑み、農園の増設や区画増を含め適正規模・適正配置に努力された。

◆商工費

①商業活性化支援事業（新・元氣を出せ商店街事業）については、新規利用の商店街が増えるよう、制度内容の充実を含め工夫・検討されたい。

②中心市街地活性化事業については、ターミナルプラザの活性化と、文化交流センター利用率向上を図られたい。

③消費生活センターの相談員については、相談内容の高度化・多様化ならびに専門的な知識が必要な内容が増えてくる現状に鑑み、相談員の精神的・肉体的負担の軽減策や処遇改善等、検討されたい。

◆土木費

①境界確定整備事業に関連して、道路台帳の整備率向上に努力された。

②自転車駐車場の施設修繕については、緊急的な修繕にとどまらず、施設の高寿命化を目的とした修繕計画を策定された。

③多摩地域との連携のためにも、多摩都市モノレールの延伸に努められ、延伸までの間、他の交通手段の検討を努められた。

④相原駅西口広場築造事業および都市計画道路三・四・四九築造事業については、ともに二〇一一年度終了へ向け引き続き努力されたい。

◆教育費

①防犯対策事業について、防犯ブザーを持つことで「自分の命を守る」という意識を子どもたちにしっかりと認識させるよう努力されたい。

②教育相談事業については、教育相談員の負担軽減や利用者からの要望を視野に入れ、事業内容の一層の充実を図られたい。

③小・中学校の不登校児童・

生徒の解消に向け、学校・教育委員会等の連携を強化し改善に努められた。

④通学路のカラー塗装や交通安全施設等の安全通学対策の強化と迅速な対応を図られたい。

⑤特別支援教育について、児童・保護者へきめ細かく適切な対応とするため、外部民間機関との連携をする等、より一層の充実を図られたい。

⑥就学援助費については、要件緩和を図られたい。

⑦通学費補助事業については、制度の適用範囲内に居住しているにもかかわらず、制度を利用できない児童・生徒がいることや制度利用者が減少していることに鑑み、事業の発展的見直しを検討された。

⑧強化陶磁器食器導入事業については、早期に全校導入を図られたい。あわせて、調理員への身体的負担を考え、予防策の充実にも努力されたい。

⑨中学校支援ボランティア推進事業に統合された課外活動推進事業については、地域との連携を密にし積極的に推進されたい。

⑩預かり保育充実事業については、保護者側の意見、要望に関してアンケート等により、問題点を把握するよう努められた。

⑪まちだ市民大学HATS事業費に関連して、各講座を開催する教室不足が顕著な状況に鑑み、小学校跡施設の活用など市民大学キャンパスの確保に努力されたい。

⑫陶芸スタジオについては、市民の貴重な財産であり存続が望まれることから、今後の管理運営方針を明確にするともに、早期に維持修繕計画を立てるよう努められた。

⑬跡地開放教室は大切な市民の生涯学習の場であるので、空調等の設備を設置されたい。

⑭青少年教育事業費のジュニアリーダー育成事業については、講座に参加した子どもたちが講座を卒業したのちに、そこで学習・経験したことを実践できる機会の創設に努力されたい。

⑮障がい者青年学級の充実を図られたい。

⑯図書館費に関連して、身近なところに図書館がない地域においては、新たな図書館建設も含め図書館利用需要に応えられるよう工夫・検討されたい。

⑰「屋根のない博物館“玉のよこやま”アート&ウォーク”事業の成果を踏まえ、エコミュージアム（地域まるごと博物館）の常設に向け努力された。

⑱国際版画美術館管理費について、早期に建物全体の維持管理計画を明確にするよう努められた。

⑲学校温水プール開放事業については、利用率の算出方法を見直しされたい。

特別会計

国民健康保険事業会計

①国民健康保険税の収納率については、収納率向上に引き続き努力されたい。

②国民健康保険税の滞納者に対する対応をきめ細かにを行い、納税できる条件を拡大するなどの努力を図られたい。

下水道事業会計

①水洗化普及率に関連して、下水道供用開始区域における下水道未接続世帯に対しては、

接続してもらうよう指導されたい。

忠生土地区画整理事業会計

①忠生土地区画整理事業については、事業開始から四〇有余年の時間が経過し、事業の早期完了が望まれて久しい。現状で、毎年一〇億円余の事業費が計上され、完了予定の二〇一三年度までに事業完了ができない状況になると、市財政に与える影響は大きなものになると思料する。したがって、少なくとも事業完了予定の二〇一四年三月三十一日までは事業が完了できるよう一層の努力を期待するものである。

介護保険事業会計

①国庫補助金のうち調整交付金については、全国調整の結果、町田市は毎年低い交付率になっており、その分は一号被保険者の保険料に跳ね返る状況にある。制度内容の見直しなしに交付率の向上はあり得ない現況に鑑み、引き続き制度内容の抜本的見直しを強く関係機関に求めることを望む。あわせて、市民に対しても、町田市の介護保険の現状を正確に広報するよう努力されたい。

②施設介護サービス給付費が数年来横ばいもしくは減少傾向にあるにもかかわらず、居宅介護から施設介護に移行を希望する場合、相変わらず待機しなければならぬ現状に鑑み、施設入所待機者の解消に向けて引き続き努力されたい。

③介護予防検診受診率の向上と特定高齢者の介護予防サービスの利用の向上に努められたい。